



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	中学部・高等部生徒 119名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリ・パラ推進事業・講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの意義や価値等に対する理解・関心の向上 ・生涯を通じたスポーツへの主体的な参画の定着・拡大 ・児童生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成
5 取組内容	<p>(1)講師</p> <p>インドネシア2018アジアパラ競技大会 男子走り幅跳び 銀メダリスト 小久保 寛太 氏</p> <p>インドネシア2018アジアパラ競技大会 女子卓球 日本代表選手 檜山 七菜子 氏</p> <p>(2)当日の流れ</p> <p>①校長挨拶</p> <p>②講演（競技の説明、アジアパラ競技大会の説明など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小久保 寛太 選手</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>檜山 七菜子 選手</p> </div> </div> <p>③檜山選手によるデモンストレーション（卓球）</p>



④実技体験
・ボッチャ



・走り幅跳び



⑤講評
⑥謝辞

6 主な成果

- ・講演会を通し、スポーツの魅力や素晴らしさを感じることができた。
- ・スポーツを通して他国の人と交流を図ることができ、友達を増やすことができることが学べた。
- ・実際に体を動かし経験することで、スポーツの楽しさを実感することができた。

7実践において工夫した点
(事業の特色)

- ・講師依頼については埼玉県障害者スポーツ協会の協力をお願いした。
- ・本校の要望を事前に伝え、打ち合わせを行った。
- ・講師依頼文書についても本人及び保護者にもわたるように配慮を行った。
- ・講演会については生徒が集中しやすいように配置を考えたり、パワーポイントを活用するなど視覚情報をふんだんに取り入れ、活性を図った。
- ・デモンストレーションを計画し、生徒も楽しんで参加できる工夫を行った。体験活動はアスリートと一緒に体を動かし体験できるように内容等配慮を行った。



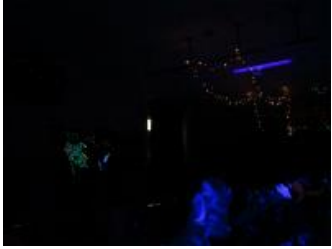
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none">・ 講師を探すのが大変である。・ 予算の関係で、講演会を毎年行うのは難しい。
9 来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none">・ 講演会は予定していない。・ ボッチャ体験は学部単位で継続して取り組んでいく。

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	小学部低学年（1，2，3年）33名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（生活単元学習）</p> <p>② 行事名（七夕を感じよう）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	七夕のパネルシアターを見たり、笹に願い事を飾ったりする等の活動を通して、七夕の雰囲気を感じ、楽しむ。
5 取組内容	<p>(1)当日の流れ</p> <p>①集合、挨拶</p> <p>②歌「七夕」を全員で歌う</p> <p>③織姫・彦星が登場し、児童と一緒に笹に飾りつけをする</p> <p>④歌や思い出のDVD視聴</p> <p>⑤天の川の鑑賞（暗転）</p> <p>⑥パネルシアター「たなばた」</p> <p>⑦電飾やミラーボールを鑑賞</p> <p>⑧織姫・彦星からプレゼントをもらう</p> <p>⑨挨拶、解散</p> <p>(2)当日の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の伝統的行事である「七夕」を意識することができた。 •七夕では「織姫」「彦星」そして言い伝えの内容を知ることができた。 •伝統行事として笹に願い事を書いた短冊を飾ることを知ることができた。 •女子児童は、日本独特の風習である浴衣を着る経験をするすることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> •児童が受け入れやすいように事前に話をして意識を高めた。 •楽しい雰囲気を感じられるように音楽を取り入れたり、暗転を利用したりした。 •児童の心の中に印象付けられるように担当で内容の話し合いを行ったり、季節感を感じられるように実施時期を決定した。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> •特になし
9来年度以降 の実施予定	来年度以降も実施予定。

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	小学部高学年（4，5，6年） 22名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ）</p> <p>② 行事名（ 交流学习 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの仲間と知り合い、大勢の雰囲気の中で刺激され、楽しく遊ぶ。 地域住民に対して、本校の理解とノーマライゼーションの理念を広める。
5 取組内容	<p>(1)小学校との交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月に本校に隣接する上尾市立東町小学校の4年生の児童との交流会を実施した。 東町小学校は、本校の児童との交流会を通して、互いの理解を図り、ともに支え合う「心のバリアフリー」を広め、同じ社会を構成する一員であるという仲間意識を育てることや、児童が一人一人の違いを認め、ノーマライゼーションの進展を図ることを目指している。 <p>(2)交流会の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 東町小学校の4年生の児童が本校の校内見学を行った。 それぞれの学校の児童が自己紹介を行った。 本校の体育の授業に東町小学校の児童が参加した。 <p>種目：サッカー</p>





6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 交流学習を通し、他者を理解し受け入れる気持ちを醸成することができた。同じ授業（スポーツ）を体験することで、共感関係を深めることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 年間4回の交流を行う（毎年行っている） <ul style="list-style-type: none"> 6月「はじめの会」 10月「体育の授業での交流」 11月「東町小学校を訪問」 2月「各クラス、各グループでの交流」 • 東町小学校とは30m程度しか離れておらず、行き来しやすい。 • 4回の交流会のうち、3回は東町小学校が本校を訪問する。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 交流会について、本校は学校行事として位置づけている。一方、東町小学校は総合的な学習の時間と位置づけている。交流会に対するお互いの学校の目標を達成できるよう、交流会の内容を工夫する必要がある。 • 開催するに当たり、東町小学校の教員との緊密な連携が必要だが、時間を確保するのが難しい。
9来年度以降 の実施予定	来年度以降も実施予定

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	高等部3年18名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 (異文化に触れよう)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に触れてみようとすることができる。 ・英語を話すことによって異文化言語を体験することができる。 ・さまざまな国を知る
5 取組内容	<p>(1) 授業の流れ</p> <p>① 集合、挨拶</p> <p>② リスニング1 (パワーポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語を聞いてみよう」 <p>③ リスニング2 (パワーポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クイズに答えよう」 → 画像や英語のヒントを頼りにクイズに答える <p>④ 話してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつや自己紹介をしてみよう 「Hello」「How are you?」 → 「Fine.」「Bad.」「Happy.」等から選択 「My name is (名前)(名字).」 「Nice to meet you.」 → 「Nice to meet you, too.」 <p>⑤ 世界の国旗や言葉を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで国旗クイズ <p>⑥ 挨拶、解散</p>
	 

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 世界には英語を話す人がいることを知ることができた。 • 相手の言語で会話することでお互いの気持ちが通じ、コミュニケーションが図れることを体験した。 • 言葉と一緒に身振りも交えるとより伝わりやすいことを知ることができた。 • 言葉は違って通じ合おうと努力することが大切だと知ることができた。世界の国旗を知ることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒が授業に取り組みやすいようにパワーポイントを活用し、視覚的な補助を行った。 • 楽しい雰囲気の中で授業が進行するように事前に教員同士で共通理解を図った。 • いい答えには全員で手拍子を入れて「グッドジョブ！」とみんなで言うなどの工夫を行った。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒は、積極的に英会話に取り組むことができた。今後は、挨拶以外の英会話にも取り組めるよう、工夫改善を行っていく。
9来年度以降 の実施予定	来年度以降も実施予定